



障がい者を支える人たち “その人らしさ”をお手伝い

かつて「障がい者は福祉施設にいるもの」という考えが一般的だった時代がありました。今は地域社会の一員として自立した生活をしているかたが大勢います。しかし、日々の暮らしの中、障がいがあるために周囲の支えが必要なときも…。そんなとき、彼らが「自分らしく一歩前へ進む」ことができるようサポートしている人たちがいます。差し伸べる手、寄り添う気持ち、形はさまざま。そんなみなさんのメッセージをお届けします。





障がい児のヘアカットボランティア

おしゃれを楽しんでほしいから

NPO法人福祉理容美容協会ほわいと代表理事 岩見谷真広さん



楽しい会話に子どもたちもリラックス

男の子は坊主頭、女の子はおかつぱで統一されていたのがショックでした」と話す岩見谷さん。

自身が店長を務める理髪店で、特別支援学校に通う子どもを無償で散髪する「スマイルワンコインヘアカット」を行っています。

岩見谷さんが障がい児支援に取り組もうと思ったのは、お店に来ていた子どもが病気により障がいが生じたことから。その後、活動の必要性を確かめるために特別支援学校を訪れたときの印象が冒頭の言葉です。「障がいを負い目になって髪形を注文できないかたが多いのでは…。でも、それをおしゃれをあきらめる理由にしてほしくない」と活動への思いを強くしました。

賛同した知人たちとNPO

法人を設立し、平成22年7月に活動を開始。子どもへの障がいはそれぞれ違うので、声をかけ反応を見ながらヘアカットとシャンプー、顔そりを手際よく行います。

「時には店内を遊び回る子どもを追いかけながらカットすることもあります。でも、仕上がりに本人も親も喜んでくれたときの達成感はずいぶん大きいですね」と微笑みます。

取材に訪れたこの日は15

人の子どもたちが順番に来店。父親と来ていた藤田晶大くんは、おしゃれに仕上がった髪型に「お母さん、びっくりするかな」と、はにかみながら鏡越しに岩見谷さんと言葉を交わしていました。

はさみが通るたびに増える笑顔。岩見谷さんが手にするはさみにはそんな「魔法の力」があるのかもしれない。

■岩見谷さんのお店■
ヘアメイクサロン
AKAISHI



店舗はビルの1階です

実施日▶奇数月第3日曜日
住所▶中通六丁目2-20
問い合わせ▶☎(834)4694

*散髪は無償ですが、スギツチファンド(県内の市民活動などを支援している基金)へ500円の寄付をお願いします。

▼岩見谷さんから…お子さんには回数を重ねてスタッフに慣れてもらうようになっています。現在、新たな予約がしづらい状況ですのでどうかご了承ください。